東京ジャーミイ金曜日のホタバ

２０１2年2月３

マウリード

親愛なるムスリムの皆様。

社会はそれぞれ、その中の優れた人を模範とします。知識や閃き、知性を持つ人々もそれを行います。この人々は現世と来世で幸せになります。このような幸福な人々をもたない社会は、道徳的に崩壊します。また安らぎが失われ、力や強さをなくし、分裂してきます。これは逃れられない結果となるのです。

宗教的・道徳的な生活において最も偉大な模範は、疑いもなく預言者ムハンマドです。諸世界への慈悲として遣わされた最後の預言者ムハンマドの、模範的な生き方を細かく見ていくなら、その素晴らしい人格が明らかになります。アッラーの使徒は誰かの恥を直接罵ったりなさいませんでした。そして、過ちである行為がなされた場合は、それを行った人が誰であるかを明らかにせず、誰かを非難したりもせず、その過ちをたださされました。誰かの言葉をさえぎったりせず、話が終わるまで聞いておられました。誰かの秘密を探ったりもされませんでした。ご自身に関係のないことに関わられることもありませんでした。アッラーへの不遜でない限り、ご自身に対してなされた悪事を許され、機会があったとしてもその復讐をすることはありませんでした。富裕層と貧困層、主人と奴隷、大人と子供を区別することなく人々を平等とされました。預言者ムハンマドは気前のよいおかたでした。食事をさせることをとても好まれました。手に入ったものはすぐにそれを必要としている人々に分配しました。誰かを手ぶらで戻らせたりすることはありませんでした。すべての仕事を秩序やバランスを保って成し遂げられました。時間を無駄にされることもありませんでした。常に正直であられました。約束をされた時はそれを守られました。冗談であろうと、決して嘘をつかれることはありませんでした。預言者となられる以前から、信頼できる人という呼び名を得ていました。だからアッラーはクルアーンで、「本当にアッラーの使徒は、アッラーと終末の日を熱望する者、アッラーを多く唱念する者にとって、立派な模範であった。」（部族連合章第２１節）と仰せられました。さらにアッラーはクルアーンで、

預言者ムハンマドが最も崇高な徳を持たれ、アッラーの慈悲の顕現としてそのウンマに優しく慈しみをもってふるまわれたことを語られました。そして「われは只万有への慈悲として、あなたを遣わしただけである。」（預言者章大１０７節）と仰せられました。また預言者ムハンマドも「あなたのうち最も尊い者は、その徳が優れた者である」「私はただ、よい徳を完成させるために遣わされた」と仰せられまた。

親愛なるムスリムの皆様。今晩、アッラーが許されるなら、マウリードの灯明祭を迎えます。愛する預言者さまの誕生を祝い、ムスリムにふさわしい高い徳を身に着けることとは、家族や周囲、社会にとって有意義な存在となることです。皆さんのマウリードの夜を祝い、イスラーム世界に善をもたらすものとなることをアッラーに希います。